

31【P2】 I -346

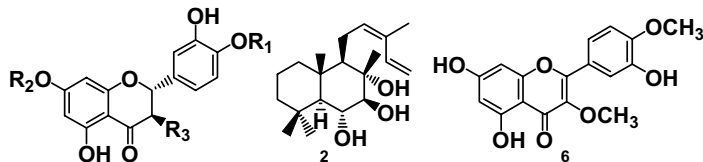
Blumea balsamifera のプラスミン阻害成分

○大崎 尚人¹, 大槻 崇¹, 小谷野 喬², Thaworn Kowithayakorn³, 石橋 正己¹(¹千葉大院薬,²テムコ,³コンケン大農)

【目的】当研究室における生物活性天然物の探索の一環としてプラスミンに対する阻害活性を指標にタイ産植物の成分研究を行った。

【方法・結果】植物メタノール抽出物 (93 種) についてプラスミン阻害試験を用いてスクリーニングを行い、活性の見られたキク科植物 *Blumea balsamifera* について成分研究をおこなった。メタノール抽出物を溶媒分配し、活性の集約したヘキサン、酢酸エチル層について各種カラムクロマトグラフィーを用いて分離精製し、これまでに化合物 **1**~**6** を単離した。それぞれについてプラスミン阻害試験を行った結果、**4,5** について Leupeptin (陽性対照) と比較して同程度の活性を示した。(それぞれ IC_{50} = 9.2(**4**), 3.1(**5**), 9.5 μ g/ml(Leupeptin))

一方、**2** については *Blumea glomerata* から単離した。また、改良 Mosher 法に基づき、報告されていた絶対立体配置を訂正した。



1 : R₁=CH₃ R₂=H R₃=OH

3 : R₁=CH₃ R₂=CH₃ R₃=OH

4 : R₁=H R₂=CH₃ R₃=H

